

文化庁及び文化関係独立行政法人の京都移転に向けて

文化行政の中核機関は東京にあるべきでしょうか

- 今、我が国では、経済成長中心から、成熟社会に適合した新たな文化や社会モデルを構築していくことが求められています
- その際、政治・経済が集中する東京ではなく、歴史と伝統が根付き日本文化の蓄積がある京都に日本の文化行政の中核機関を置くことで、文化行政の飛躍につながります

「政治・経済首都」東京と「文化首都」京都の双眼構造により経済・文化両面から日本創生を！



京都移転により文化行政の向上が期待できます

- 京都は、文化財の集積があるだけでなく、文化行政を先導・牽引してきた実績があります
- また、日本の伝統文化を体現する京都御所や京都迎賓館などが存在するのみならず、映画・アニメ等のコンテンツや、伝統芸能から舞台芸術・現代芸術まで様々な文化人材が集まり、国際的な文化交流と情報発信の力もあります

文化庁等の業務全般についての機能向上に貢献できると考えています

移転効果① 文化芸術の振興の強化

京都は、多様な日本の文化振興事業を実施してきており、文化芸術の向上に貢献できます

文化行政の先導の実績、多様な分野の人材育成

- 源氏物語千年紀事業
 - ・源氏物語国際フォーラム等の各種事業を展開 (3,777事業、1,030万人参加、経済効果(推計)1,087億円)
 - ・フランス語版源氏物語(500点以上の絵巻・画帖など収録)がフランスで発行
- 「古典の日」(11月1日)制定
 - ・「古典の日に関する法律」制定(H24.9)を推進し、全国へ古典を普及・浸透
- 琳派400年記念祭
 - ・21世紀琳派の開花を目指し、京都国立博物館をはじめ官民で文化事業を展開
- 和食文化の高等教育機関設立構想
- 多様な分野の国際的文化イベント開催による次世代アーティスト育成
 - ・KYOTO CMEX(映画・アニメ等のコンテンツ)、ファッションカンタータ from Kyoto、京都国際舞台芸術祭、京都国際現代芸術祭など



古典の日フォーラム (出典)古典の日推進委員会HP



(出典)琳派400年記念祭委員会HP



京都HISTORICA国際映画祭



京都国際マンガ・アニメフェア (出典)KYOTO CMEX HP

移転効果② 文化財・世界文化遺産等の保存・活用・継承の強化

京都は、国宝等文化財や世界文化遺産の現場に近く、文化行政の効率化等が図られます

関西・京都に集積する文化資源

- 国宝の約5割、重要文化財の約4割は関西に集中
 - ・建造物: 国宝の約7割、重文の約4割
 - ・美術工芸品: 国宝の約5割、重文の約5割
- ユネスコ世界文化遺産の集積(5件が関西に集中)
- ユネスコ世界無形文化遺産
 - ・京都祇園祭の山鉾行事
 - ・和食: 日本人の伝統的な食文化



	関西圏		東京圏		全国
	うち京都府	うち京都市	うち東京都	うち京都市	
国宝	599(54.8%)	230(21.0%)	302(27.6%)	276(25.2%)	1,094
うち建造物	159(71.6%)	50(22.5%)	4(1.8%)	2(0.9%)	222
うち美術工芸品	440(50.5%)	180(20.6%)	298(34.2%)	274(31.4%)	872
重要指定文化財(国宝含む)	5,810(44.7%)	2,154(16.6%)	3,245(24.9%)	2,746(21.1%)	13,010
うち建造物	1,028(42.2%)	294(12.1%)	186(7.6%)	79(3.2%)	2,437
うち美術工芸品	4,782(45.2%)	1,860(17.6%)	3,059(28.9%)	2,667(25.2%)	10,573

移転効果③ 日本文化の国際発信の強化

京都でのMICE等を通じ、内外の文化人・文化行政関係者に日本文化を発信できます

海外発信の実績

- 「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」の京都開催(H28.10)
 - ・日本政府と世界経済フォーラムとの連携によるスポーツ・文化の国際貢献等を議論する国際会議
- 日本初となる「世界博物館大会」の開催(H31秋)
 - ・(国際会議の開催実績)
- 京都迎賓館(和風迎賓館)
 - ・国公賓等による訪問回数 98回(H17.4~H27.7)
- 京都御所、伝統文化・伝統芸能の家元等の存在
- フランスやドイツの政府公式文化機関等が京都に立地
 - ・(フランス)アンスティテュ・フランセ関西、(ドイツ)ゲーテ・インスティトゥート など

(京都)	H26
開催件数	203件
総参加者数	128,173人
海外参加者数	16,567人

(出典)「2014年 京都で開催の国際会議統計」(公財)京都文化交流コンベンションビューロー



京都迎賓館 (出典)内閣府HP

移転効果④ 文化発信の基盤の強化

京都は、文化財等を保存・継承・発展させてきた歴史があり、国民共有の貴重な文化財の次代への継承等に貢献できます

次代に継承・発展させる取組

- 日本文化財保存修復国際センター構想
 - ・文化資源の保存・修復、保存技術等を継承する人材育成、文化財を活かした地域づくりなどを担う総合拠点を設置する構想

移転効果⑤ 文化行政に携わる方々の研鑽

京都は、歴史や伝統を重んじる価値観を持ち、全国各地の文化を育んできたまちであり、文化行政に携わる方々の感性が磨かれ、その研鑽に寄与できます

歴史や伝統を重んじる価値観

- 各地から文化の担い手を受け入れ、育成し、地域文化の独自の発展に貢献
- 地蔵盆をはじめ四季折々の行歳事などの文化が生活の中に根付いている



五山の送り火 (出典)京都市観光協会HP

東京から移転するデメリットは最小限です

- 文化庁職員の国会への出席回数は、年20回程度です
- 京都は鉄道の要所で、関西には3つの空港があり、全国からのアクセスに支障はありません
- 移転に必要な施設整備、職員の住宅確保等について、支援します

(文化庁職員による国会委員会出席回数)

年度	答弁者	長官	次長	審議官	文化財部長	文化部長	計
22	0	8	0	0	0	0	8
23	0	17	1	4	2	2	24
24	0	10	1	0	0	0	11
25	0	15	2	9	1	1	27
26	0	14	6	4	1	1	25